

# 90年前の夏の甲子園決勝「松本商×平安中」

## 再現試合ファン1500人堪能

90年前の夏の甲子園決勝カード再現となる招待試合（県高校野球連盟、朝日新聞長野総局主催）が16日、松本市野球場で行われた。龍谷大平安（京都）が、平安中時代に松本商（現在の松商学園）に1-3で敗れた「雪辱」を果たした。第2試合は龍谷大平安と佐久長聖が引き分けた。

### 龍谷大平安が「雪辱」

100回目を迎える夏の大会に向けた記念試合とあって、小雨の残る午前6時半には早くも熱心なファンたちが詰めかけた。雨上がりの9時半から開会式。県高野連の山崎宏会長はあいさつで、90年前の偉業をたたえるところにも、「競技人口の減少が目立つ野球界を活性化する契機に



龍谷大平安-松商学園 五回表龍谷大平安2死二塁、安井の左前安打で二塁走者北村涼が生還。捕手大和久=いずれも松本市野球場

優勝旗レプリカの横で握手する（左から）松商学園の大和久峻矢主将、龍谷大平安の松田憲之朗主将、佐久長聖の真銅龍平主将

したい」と述べた。

開会式では、松本商が1928年の第14回大会で全国制覇したときの優勝旗のレプリカが披露され、観客1500人の目を引いた。翌29年の優勝旗返還に伴って朝日新聞社から贈られ、同校の歴史栄光室で安置されている門外不出の宝で、特別展示された。

龍谷大平安の原田英彦監督は「ジーンと来ました。平安も部史は長いのですが、実は古い資料があまり多くは残っていないので、松商学園さんの歴史を重んじる考え方は素晴らしいです」と話した。

一方、松商学園の足立修監督は、2-6で敗れたスコアに報道陣から「（3-1で勝った）90年前の倍返しをされましたね」と問われて苦笑い。「チームにス

キがあり過ぎる」と反省したが、「ここから3週間が勝負。きょうの経験を生か

し、記念の100回大会に必ず出場したい」と表情を引き締めていた。球場では、招待試合ならではの出会いもあった。

90年前に優勝投手となった中島治康さん（故人）の長男の治彦さん（71）＝東京都＝は、始球式に登板した孫の海斗くん（9）に同行して球場入りした。その治彦さんをたずねてきたのが、

優勝バッテリーを組んでいた捕手、百瀬和夫さん（故人）の長男の国夫さん（80）

＝松本市。初対面となり、お互いの父親談義にしばし花が咲いた。スタンドにはオールドファンや少年野球チームの選手などが目に付く一方で、

三塁側では京都から駆けつけた龍谷大平安の保護者会やファンの姿もあった。松田憲之朗主将の父で保護者会長の寿史さん（51）は「貴重な試合の機会を与えてい

### 佐久長聖は引き分け

2点返したが、序盤の牽制死やバント失敗などミスが目立った。

▽第2試合 龍谷大平安

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 6 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 6 |

佐久長聖  
【龍】島田、北村智、野沢、小寺、安井、田島【佐】北畑、和田、林、小山

馬場の適時打で先制。五回は安井、松本の連続適時打で2点を追加。小寺は131球の力投で九回を2失点に抑えた。松商学園は七回に無死満塁の好機を作り、

▽第1試合 龍谷大平安  
0 1 0 0 2 0 0 0 3 6  
0 0 0 0 0 0 2 0 0 2  
松商学園  
【龍】小寺、田島【松】直江、向山、保科、大和久  
⑩：龍谷大平安は二回、

⑩：佐久長聖は七回に樋口の適時打などで2点、八回に鈴木木の適時打と敵失で2点加え、4点差を追いついた。龍谷大平安は1点を追う六回に馬場の2点本塁打で一時逆転。七回は佐野の適時二塁打などで3点追加したが、佐久長聖が粘りを見せ、引き分けた。

## □ ハーフタイム

90年前の夏の甲子園の決勝カードが16日、長野県の松本市野球場で再現された。当時、松本商だった松商学園(長野)に、平安中と



して敗れた龍谷大平安(京都)が6-2で雪辱した。

始球式には、優勝投手で後にプロ野球史上初の三冠王に輝いた故中島治康氏のひ孫にあたる、東京の小学4年生、中島海斗くん(9)が登板。打席の平安OB、田島元さん(81)に投げ込んだ。72歳差の「対決」を終え、ひいおじいちゃんが偉大な選手だったと田島さんから聞かされた海斗くんは、感心しきりだった。